

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	スルガ銀行湯河原支店	階数	地上2F
建設地	足柄下郡湯河原町宮上字道下79-1	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	9人
気候区分		年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年6月	評価の実施日	2013年1月20日
敷地面積	975 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	357 m ²	確認日	2013年1月20日
延床面積	496 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 64%
上記+: 57%
上記+: 57%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
環境への配慮として、省エネルギー性を高めた建物とした。また温泉街の為、周辺地域へ溶け込む様に外装にも配慮し、敷地内にはできる限りの緑化を計画した。		
Q1 室内環境 1階エントランス部等は全面ガラスとし開放的な空間とし、事務室の天井高3mとして快適な空間となるよう心がけた。	Q2 サービス性能 情報通信社会に対応し、大容量ブロードバンドを設けている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に合わせて外装材を選定し、できる限りの緑化を設けている。
LR1 エネルギー 建物内の断熱性を高めて熱負荷の抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材を分別しやすいうに配慮している。	LR3 敷地外環境 周辺環境に配慮し、適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される